

N0.2 深良新駅（構想）周辺地域生活拠点（1/2）

地域活力維持型・中長期

地区の位置付け（都市計画マスタープランにおける位置付け）

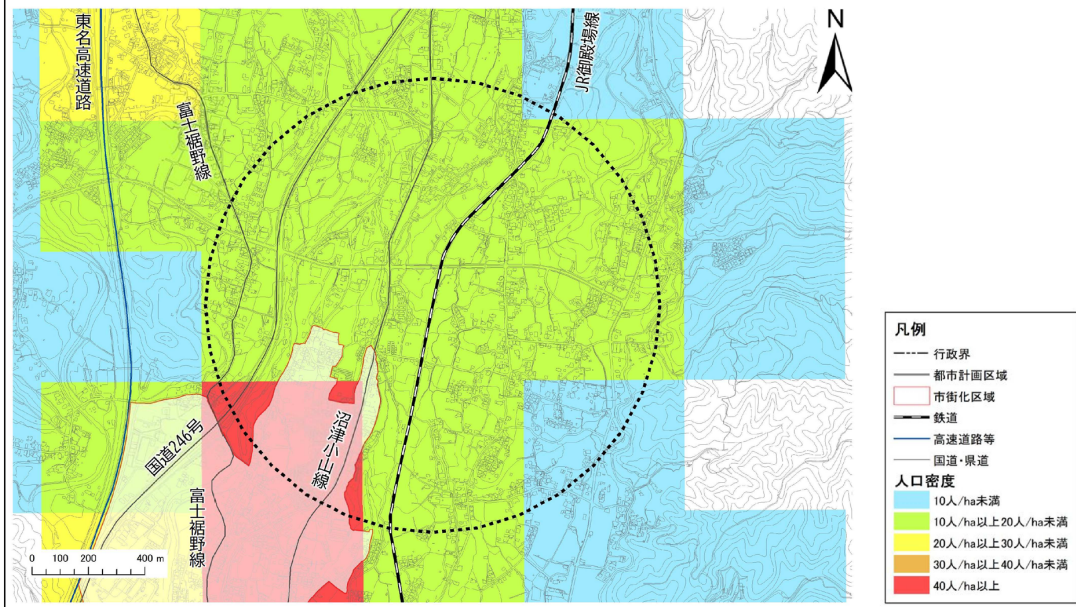
地域生活拠点

公共交通の利便性を備えるとともに、日常的なサービス機能が集積した市民の暮らしやコミュニティ、地域の生活交流の中心となる拠点を形成します。

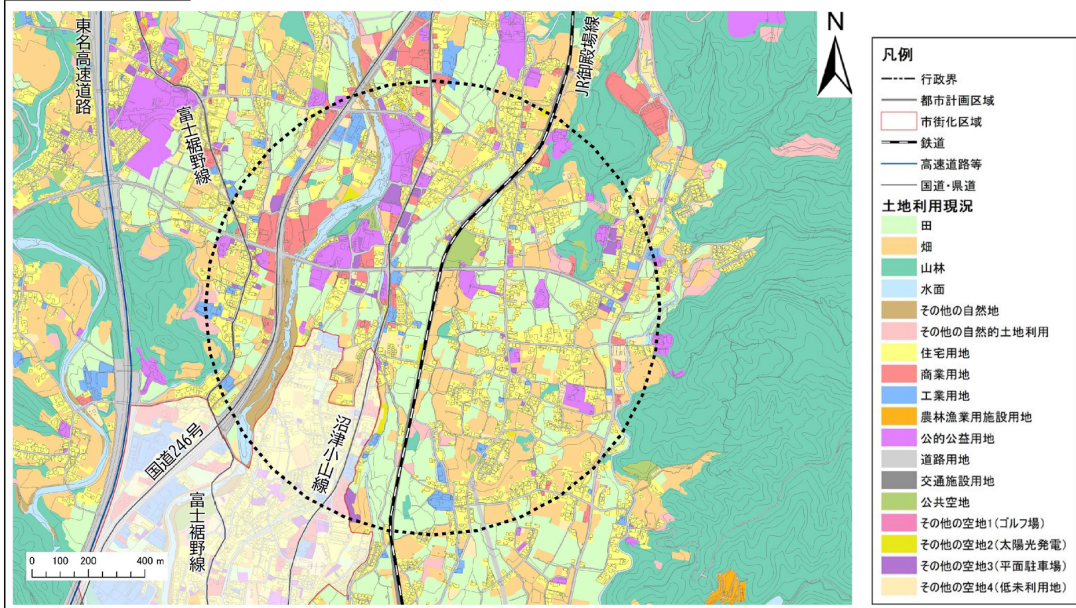
土地利用検討エリア（深良新駅周辺）

公共施設が集積し、公共交通である鉄道駅設置による交通利便性を備えた新たな地域生活拠点の形成を図ります。拠点形成にあたっては、利便性が高い快適な居住環境を創出するため、土地区画整理事業等の計画的な都市基盤整備を検討します。

人口の分布状況



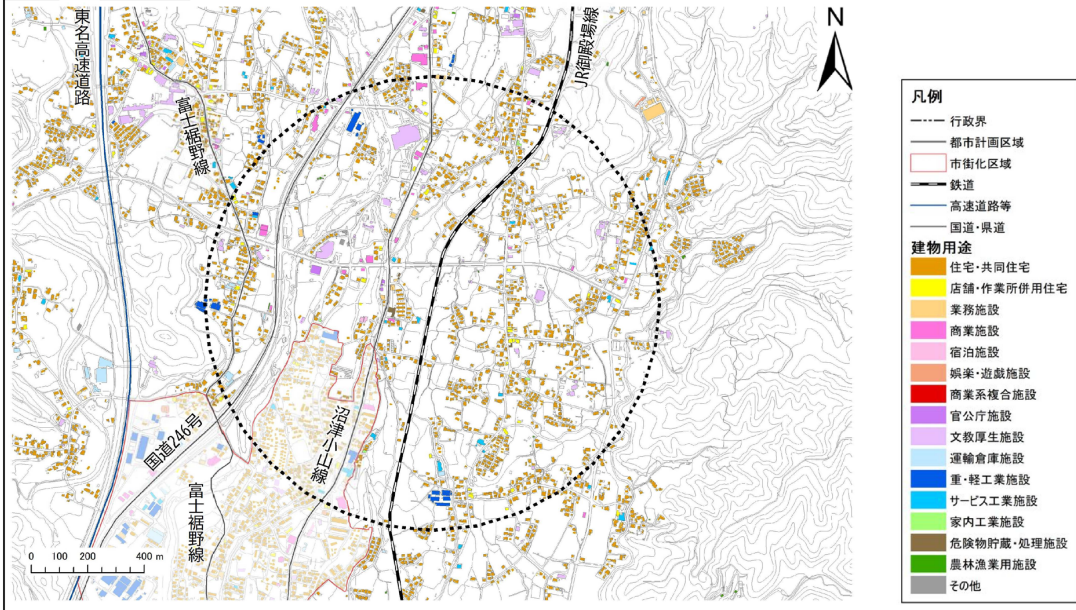
土地利用現況図



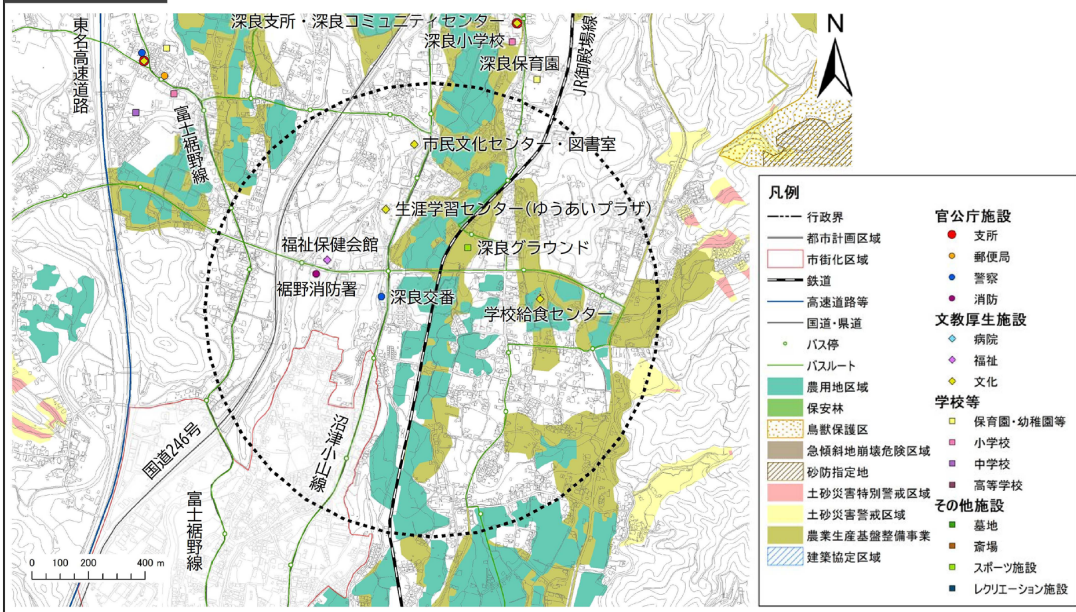
N0.2 深良新駅（構想）周辺地域生活拠点（2/2）

地域活力維持型・中長期

建物利用現況図



地区の概況図



地区の現況と課題

生涯学習センター、市民文化センターや福祉保健会館等が立地し、地区内に複数のバス停とバスルートが通っています。また、地区全体に住宅が集積しており、人口密度が10～20人/haで一定の人口が集まっていることから、今後も地域活力やコミュニティを維持するため、既存集落の住環境の向上を図るとともに、新鉄道駅設定による新たな住宅需要に対して適切に対応する必要があります。